

議会開会を周知するポスターの作成に関する調査結果

No	設問	参考【船橋市】	横浜市	相模原市	八尾市	明石市	広島市	福岡市	鷹栖町
1	ポスターの導入経緯	他市への視察をきっかけに、平成29年12月22日の広報委員会にて作成することが決定したため。	平成23年度に設置された「横浜市民基本条例の制定に関する調査特別委員会」の協議の中で、定例会日程を周知するポスターを作成することが決定された。 平成25年第3回定例会から作成。	議会活動をより広く、多くの市民へ公開し、議会及び市政への関心、理解を深めてもらうため、情報を発信するものとして、平成28年12月定例会議分から開始した。 主な活用方法としては、公共施設への掲示、市議会ホームページや市議会だより等広報用印刷物への掲載。	議会開会の周知を図る目的でポスターを作成することになり、また、同時期に「市議会×高校生プロジェクト」を行っており、そこへ参加した高校生をポスター写真に起用することで、若い世代に興味をもってもらう八尾市議会の取り組みについても周知できるという効果を見込み導入した。	市民アンケートをきっかけに議会局内で広報戦略の検討を行い、平成25年度より市議会ポスターを作成することとなった。	広報委員会の他都市視察をきっかけに同委員会において検討を始めた。 平成26年1月9日の広報委員会において試行することを決定し、平成26年4月11日の広報委員会において継続実施とすることに決定した。	議会情報の更なる周知を図るために、平成24年9月定例会からポスターを作成している。 ポスターは、①開会告知ポスター（開会1か月前）②詳細日程告知ポスター（開会1週間前）の2種類。 ①の開会告知ポスターについては、令和2年12月定例会から市立高校の生徒にポスターのデザインを作成してもらっている。	平成20（2008）年から発行。詳細な記録がなく不明だが議会改革の一環と思われる。
2	デザインの選定方法	上記の広報委員会においてポスターを作成することを決定した際、ポスターのデザイン、レイアウトについても併せて決定した。 なお、議場の写真と併せて任意の写真を掲載しているが、任意の写真については委託業者に2案示してもらい、議会事務局にて決定している。	平成26年第2回定例会までは事業者によりデザイン委託。平成26年第3回定例会からデザイン公募を実施（当初は学生を対象としていたが、順次対象を拡大、最終的にはプロ・アマ問わず）。 コロナ禍を契機に、令和2年度から事業者にデザイン委託。デザインの方向性について事前に議会広報会議に諮った上で、事業者にはクリエイティブブリーフで、複数案提示してもらった中から担当で決定し、広報会議委員の了承を得る形。	デザイン制作は、選挙権年齢が引き下げられ、選挙権を持った18、19歳をはじめとする若年層を中心に、幅広い世代に向けた情報発信として、相模原市と包括連携協定を締結している女子美術大学に一者随意契約で委託している。 毎年9月頃に市議会の各会派の議員で構成される広報委員による選考を経て、4定例会議分（12月定例会議から翌年の9月定例会議まで）のデザインを決定している。	各定例会開催時の議会トピックに合わせた写真や目を引くような見た目にインパクトのあるものを選定し、事務局職員がデザインソフトを用いて作成している。	平成31年度（令和元年度）より高校生からポスターデザインを募集し、議員の投票によりデザインを選定している。	定例会ごとに原則事務局職員が複数生からポスターデザインを作成し、広報委員会において選定している。	①の開会告知ポスターは、広報委員会において、高校から提出されたデザイン案について協議し、決定している。 ②の詳細日程告知ポスターは、事務局でデザイン等を決定している。	議員が作成し、議会運営委員会で決定している。
3	定例会ごとの作成枚数	250部	3,680部（R5年度）	200部	5枚	1,425部	300部	①226部 ②60部	1,800部
4	導入当初の予算額（ポスターを作成することとなった初年度の予算額）	462千円	4,302千円	不明	なし	300千円	205千円 （平成26年度のポスター関連費決算額）	不明 （導入当初は広報予算の範囲内で実施）	不明
5	令和5年度予算額	462千円	12,525千円	449千円 （女子美術大学へのデザイン委託220千円、印刷229千円）	なし	757千円	192千円	429千円	52千円（議会活性化委員会から支出）
6	ポスター導入の効果	ポスター導入以外にも要因はあると思うが、請願・陳情数が直近2年間で増加している。なお、傍聴者数は増加していない。	傍聴者数等の数字への影響は認められていない。	統計等行っていないが、公共施設へのポスター掲載を行っていることから、定例会の開催期間などの周知に繋がっている。	掲示枚数が少ないため、ポスター掲示による効果は市職員への周知等と限定的と考えるが、ポスターのデータをSNSやホームページ上で公開しているため、オンライン上で多くの方の目に触れていると考える。しかし、それらによって傍聴者の増加等の効果が出ているかどうかは把握できていない。	市内在住・在学の高校生からポスターのデザインを募集しており、応募点数も増えていることから、より多くの高校生に市議会に関心を持ってもらうきっかけづくりになっている。また、親しみやすいデザインで市民に市議会に関心を持ってもらうきっかけの1つになっていると考えられる。	不明	4年に1度実施している市政アンケート調査結果によると、市議会が行っている広報活動のうち、ポスターによる開会告知の認知度は、全戸配布の市議会だよりに次いで2番目であった。また、高校生によるポスターのデザインを始めてから、ポスターによる開会告知の認知度が上昇した。（直近の調査：令和4年度）	傍聴者の増加とあわせて、傍聴者アンケートの回収枚数が増え、議会に対して様々な意見をいただけるようになった。
7	現状の課題や今後の予定	毎回デザインが同じであるため、広報委員会において見直しを検討しているが、市民に関心を持ってもらえるようなポスターの検討・作成に苦慮している。	ターゲット層（30～40代）により届くよう、紙のポスター以外の掲出方法（デジタルサイネージやSNS等）を予算との兼ね合いの中で検討中。	特になし。	市民に議会への興味・関心を持ってもらえるようなデザインのポスター作成に苦慮している。	平成31年度（令和元年度）より高校生からポスターデザインを募集しており、応募点数も増えていることから、今後も継続する予定である。	原則、事務局職員がデザイン案を制作しているため、事務局の負担が大きい。 また、広報委員会で修正指示が出た場合、デザイン性が損なわれないようバランスを取りながら修正しなければならない、その点にも苦慮している。 主に掲出料がかからない公共施設等に掲出しているため、公共施設等を利用しない市民の目には触れる機会がない。	①の開会告知ポスターについては、似たような作品が続くことがある。	・デザインが得意な議員が作成しているため、議員が退任すると関心を持ってもらえるようなデザインを作ることが難しくなること。 ・傍聴者増加のメリットはあるが、この機運をきっかけに町民が参加できる議会を目指していかなければならないと考えている。
8	備考						市立大学にデザイン制作を無償で依頼したことや、一般公募によりデザインの募集を行ったこともある。 ポスターを紙媒体で掲示するだけでなく、デジタルサイネージも活用している。	①②のポスターとも、以前は事務局職員が作成していたが、他都市調査等もきっかけに、広報委員会で「学生を巻き込んだらどうか」との意見が出され、①のポスターについては、デザインに関する学科のある市立高校の生徒にポスターのデザインを依頼することになった。	当町ではチラシは発行していますが、ポスターでの掲示はしていません。チラシの場合の回答ですので調査の意図と異なる場合があるかもしれませんがご容赦ください。